山 形 県 みらい企 画 創 造 部
国際人材活躍・コンベンション誘致推進課

山形県内の在住外国人人口の概要

（令和６年12月末日現在）

山形県内の在住外国人人口については、各市町村から各年12月末日現在の国籍別、在留資格別の外国人人口の報告を受け、県がとりまとめています。

令和６年12月末日現在の外国人人口の動向は、以下のとおりです。

１　概要

○ 令和６年12月末日現在の外国人人口は、86の国・地域等、10,312人で、県内の全市町村に在住しています。

○ 外国人人口は、令和５年12月末日（9,111人）と比較して1,201人（13.2%）増となり、過去最多となりました。

○ 県の総人口に占める外国人人口の割合は1.02％となります。
（県の総人口は「山形県の人口と世帯数（推計）」令和７年１月１日現在の数値1,007,626人）

○ 外国人人口が200人以上の市町村は以下の14市町で、令和５年12月末日と比較して１市（村山市）が増えています。
①山形市1,915人、②米沢市1,219人、③鶴岡市958人、④天童市724人、⑤酒田市617人、⑥寒河江市530人、⑦新庄市456人、⑧長井市454人、⑨東根市449人、⑩河北町343人、⑪南陽市324人、⑫上山市260人、⑬村山市230人、⑭高畠町224人

２　国籍別（国籍区分は出入国在留管理庁「在留外国人統計」に基づくもの）

○ ベトナムが3,026人で全体の29.3％を占め、以下、中国1,850人（17.9％）、韓国1,330人（12.9％）、フィリピン1,062人（10.3％）と続いており、これら４か国で全体の70.5％を占めています。その他では、インドネシア614人（6.0％）、ミャンマー572人（5.5％）、ネパール243人（2.4％）と続いています。

○ 中国、韓国、フィリピン国籍の外国人は県内全市町村に在住しています。

○ 令和５年12月末日との比較では、ベトナムが349人、以下ミャンマーが278人、インドネシアが239人増加しています。

３　在留資格別

○ 「永住者」が3,096人で全体の30.0％を占め、以下、「技能実習」2,864人（27.8％）、「特定技能」1,354人（13.1％）、「技術・人文知識・国際業務」668人（6.5％）、「日本人の配偶者等」389人（3.8％）、「留学」375人（3.6％）、「家族滞在」364人（3.5％）、「技能」245人（2.4％）、「特別永住者」219人（2.1％）、「特定活動」が198人（1.9％）と続いています。

○ 「永住者」、「日本人の配偶者等」の外国人は県内全市町村に在住しています。

○ 令和５年12月末日との主な比較では、「特定技能」が471人、以下「技能実習」が351人、「技能」が148人、「家族滞在」が70人増加しています。

４　男女別

○ 総数のうち、女性が6,185人、男性が4,127人で、女性が全体の60.0％を占めています。

○ 外国人人口が多い主な在留資格の女性構成比は①「永住者」84.5％、②「技能実習」52.1％、③「特定技能」51.8％、④「技術・人文知識・国際業務」27.7％、⑤「日本人の配偶者等」70.2％、⑥「留学」41.3％、⑦「家族滞在」62.9％、⑧「技能」31.4％、⑨「特別永住者」45.2％、⑩「特定活動」48.5％となっています。